

(令和8年度)

京都市では、施設の運営状況を分かりやすくお伝えする取組を行っています。

旧三井家下鴨別邸の運営について

重要文化財 旧三井家下鴨別邸は、市民の文化の向上及び発展に資することを目的として、一般公開を開始した施設です。

施設の主な取組（概要）

- 自主事業の企画・実施
主屋2階・3階望楼の特別公開、呈茶イベント、ランチプランといった自主事業を企画・実施しています。
- 情報発信
ホームページやSNS等で、施設や自主事業に関する情報の発信を行っています。



施設の利用状況（概数）

- 年間約4.7万人の方々にご来館いただいています。
(令和7年度4.5万人、令和6年度4.6万人、令和5年度5万人)

旧三井家下鴨別邸に関する収入と支出（概数）

利用者1人あたりに換算すると、上記の取組などによる年間の支出は710円（総額32百万円）、利用料などの収入は570円（総額26百万円）です。

＜支出：710円（総額32百万円）＞

総務 事務費 60円	職員人件費 360円	施設管理費 260円	維持 修繕費 30円
------------------	---------------	---------------	------------------

＜収入：570円（総額26百万円）＞

貸室料 80円	入場料等 490円	差額 140円
------------	--------------	------------

市民の皆様からの税金及び指定管理者で負担